

## 令和3年度 第2回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和3年12月21日(火) 15時00分～16時00分
2. 場 所 本校校長室
3. 出席者 学校協議会委員(出席6名)  
・寺脇 久人      ・戸堂 耕造      ・細越 浩嗣  
・中谷 正彦      ・山口 裕通      ・田中 尚子
4. 報 告 協議に先立って、  
「災害ボランティア活動について(参加生徒5名による報告)」  
「学校の近況」、  
「新型コロナウイルス感染症による臨時休業の状況」、  
「感染対策の現状」、  
「本校のICT化の進捗状況」  
「新しい教育課程」  
等の報告を行いました。
4. 協議概要 以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

(災害ボランティア活動に関連して)

- 計画、活動そのものはもちろん、パワーポイントを使った報告も素晴らしい。それぞれの学校生活がある中で、よく頑張ったと思う。
- コロナ禍にありながら、生徒に経験させてやれることを見つけ、企画を実施していただいたことは大きい。
- 被災地避難所での生活を想定した「段ボールを使ってのプライベート空間の確保のしかた」など非常に実践的な経験は、被災地での生活を実感するのに非常に有効だったのではないかと。その情報を他の生徒に共有できたことも良かった。
- コロナ禍の中でなかなか計画しにくいとは思いますが、これまでつないできた防災減災プロジェクトは是非継続してもらいたい。

→「防災・減災」は学校としてのテーマであり、継続していく。

(学校の近況報告について)

- 行事などを工夫・対策をしながら実施していることは素晴らしい

い。先生方にも無理のない範囲で頑張ってもらいたい。

- 王子川の防波堤のペイントは、地域の人と携わった生徒以外の生徒も日常的に目にするもので、自分たちの学校の活動としてよい刺激になったのでは。
- 地域で実施している盆踊りに、例年フォークソング部や吹奏楽部から演奏で参加してもらっていたが、盆踊りが中止になり、交流できなかった。次年度是非復活して、また参加してもらいたい。生徒会とコラボで行っていた地域の清掃活動も中止になっているが、今後また復活したい。

(新型コロナウイルス感染症による臨時休業の状況について)

および

(感染対策の現状について)

- 修学旅行を、計画変更を重ねながらも無事実施したことは、先生方の努力の結果だと思う。
- 現状、教育現場ではやや制限が強すぎるような気もする。自由に成長できるように、活動ルールを作ることが大切。
- 大阪府のガイドラインに沿った感染対策の中で、最大限生徒には充実した高校生活を提供するように工夫をしている現状である。
- 中学校でも同様の苦勞をしている。現場では感染対策をしながら様々な行事を実施するなど努力をしている。保健所によると、日常のマスクの着用と飲食時の黙食などの対策の徹底が大切で、そこを押さえれば大丈夫とのこと。
- 今後も引き続き基本的な感染対策の徹底を指導していく。特に飲食時の黙食指導については繰り返し指導している。
- 今後もコロナによって PTA 活動には苦勞するであろう。生徒の健康を守るため、学校とも協力して家庭での指導も徹底する必要がある。

(本校の ICT 化の進捗状況について)

- Google とさくら連絡網の体制が整い、生徒、保護者に直接、相互に連絡が取れる体制が作れたことは安心できる。コロナ休業時での連絡、学習保障の観点から良かったのではないかな。

○ 全教室に WiFi のアクセスポイントが設置されたことは非常に良かった。先生方も取り扱いについて対応していくのが大変だとは思いますが、無理のない範囲で、今後、授業その他での 1 人 1 台端末の活用を進めていただきたい。

○ Chromebook の導入や WiFi の設置は府立高校全体で行っているものか。

→ 府立高校全体に導入されているが、高石高校では全学年への配付も早期に対応することができた。授業での活用も進んでいる。毎時間 Chromebook を持参させて授業を行っている教員もいる。授業以外の場面でも、情報の共有やアンケートをクラブ顧問が部員に google form を使って行っているなど活用も進んでいる。

○ WiFi 接続ポイント 1 台で教室の 40 人が同時接続できるのか。止まったりはしないのか。

→ 1 教室の生徒 40 人が特に遅延なく同時接続できることを確認している。現段階では支障はない。

○ アクセスするサイトに制限はないのか。

→ 一部に制限はあるが、現在はかなり自由に使える。設置当初は YouTube などは接続制限されていたが、現在は接続できるようになっている。

(新しい教育課程について)

○ 様々なタイプの生徒 1 人 1 人へのフォローアップ体制を充実させてほしい。

○ 私立高校など独自に授業時間を多く設定している学校と学力差ができるといった心配はないか。

→ 生徒の負担軽減のために週 30 時間とするが、放課後の講習を充実させ、その中で様々な進路の生徒に対応することが目的の改編。受験対策についても授業だけでなく、その講習に組み込んだ体制をつくる。

○ 18 歳成人についての教育はどうなっているか。

→ 公民の授業の中で指導を行っている。18 歳成人についてのパンフレット等も配布されており、それを使っての指導も行っている。